

地域のねらい

- ・すでに良好な景観や良質な観光資源が存在している当該地域を人の目線において繋ぎ、整然とした美しい街並みの中に育み、結果として国際的水準と規模の商業・観光拠点にしていく。

活動エリアと地域資源

風景街道の範囲

新宿通り・山手通り・六本木通りに囲まれた約20～30km²の範囲が想定されるが、核となるエリアは都心の豊かな緑に囲まれ、わが国先端都市文化の発信拠点である（青山通りを背骨とした）渋谷・原宿・青山一帯の約10km²を考えている。

地域資源

- ・景観資源：代々木公園、明治神宮、新宿御苑、青山霊園、神宮外苑、赤坂御所等
- ・歴史資源：絵画館、迎賓館等
- ・文化資源：青山学院大学、国連大学、国立新美術館等

地域の活動推進体制

『東京・迎賓地区』パートナーシップ

- ・NPO 渋谷・青山景観整備機構(SALF)、青山学院大学(社会学連携研究センター)、渋谷区渋谷東地区まちづくり協議会、渋谷区原宿神宮前まちづくり協議会、港区青山通り協議会他

地域資源、活動内容



新宿御苑



絵画館



神宮外苑の銀杏並木



社会実験



タウンミーティング



岡本太郎『明日の神話』(招致活動中)